

IZANO 2

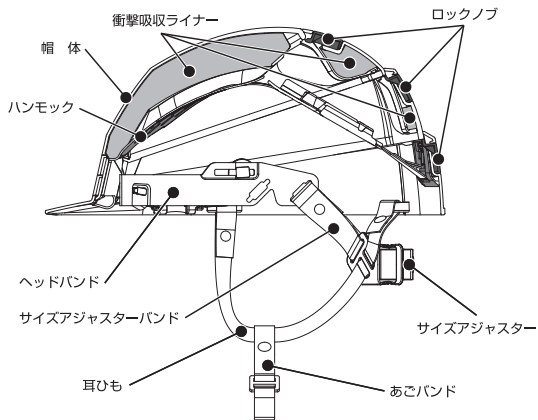
取扱説明書

T-31-2105

1. はじめに～取り扱い上の注意事項

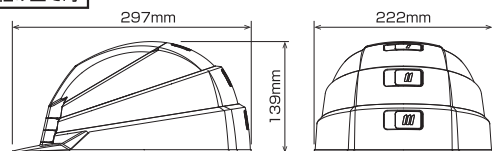
- 本製品は、帽体を完全に組み立てた状態で頭部に被ることで、本来の性能が出るように設計されております。組み立てが不完全な状態での使用や頭部に被る以外の使用は、本来の性能が出ないだけでなく、大きな事故につながる場合がありますので、絶対に止めてください。
- 帽体を組み立てて机上や床などに置いた状態で、頭頂部に荷重を掛けしないでください。必要以上の荷重が掛かると、急にロックノブが解除され思わぬケガ等をする場合があります。
- ロックノブを解除した状態では、帽体の鋭利な形状が露出します。ロックノブを解除した状態で取り扱う場合は、鋭利な部分でケガ等されませんよう十分ご注意ください。
- 帽体を折りたたむ際は、ロックノブを必要以上に引き出さないでください。必要以上に引き出すと、変形・破損する場合があります。
- 本製品を保管する場合は、付属の袋に入れてください。また長時間保管する場合は、必ず頭頂部を上側にしてください。頭頂部を下側にしたり、縦または横方向に立てて保管すると、変形・破損する場合があります。
- 定期的(6～12か月の間)に、組み立ててに支障がないか、または各部品に劣化等が生じていないかご確認ください。

2. 各部名称



3. 仕様

組み立て時

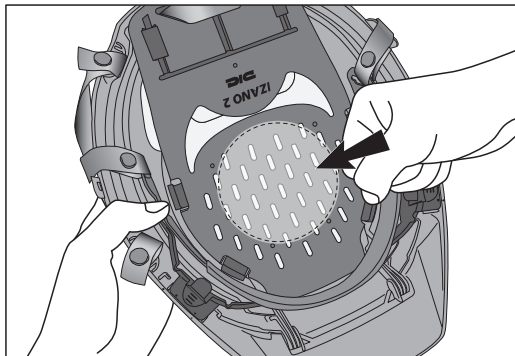


折りたたみ時

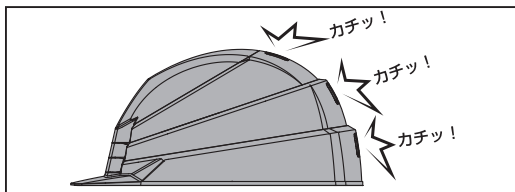


組み立て方法

①ハンモックのメッシュ部分○を押し、帽体を押し上げます。



②ロックノブ3ヶ所が「カチッ」というクリック音するまで押し込み、確実にロックされたことを確認します。

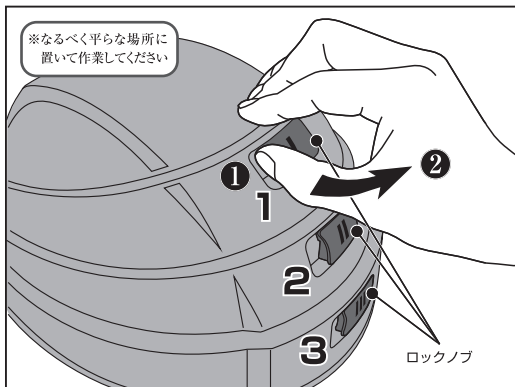


- 警告** ○必ず3か所のロックを確認して着用してください。
- 注意** ○ヒンジ部分で手や指を挟まないよう注意して行ってください。

折りたたみ方法

※以下の手順を、必ず図の1→2→3の順番で行ってください。
折りたたみをスムーズに行うことができます。

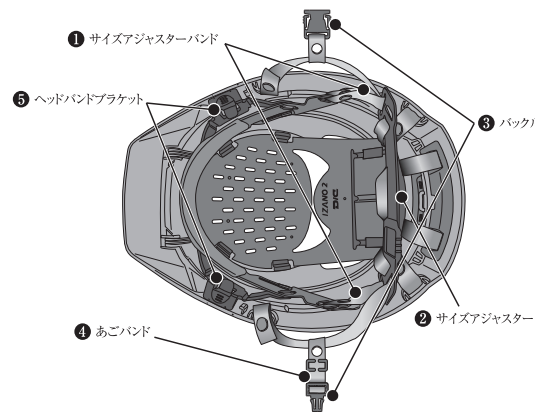
- ①ロックノブの端部に親指を掛け、
- ②ロックノブを水平方向に手前へ引き出せば解除できます。
- ロックノブは3mm程度引き出せば十分解除されます。必要以上に引き出さないでください。
- 帽体を折りたたむ際に、帽体の端末等でケガをしないよう、十分ご注意ください。



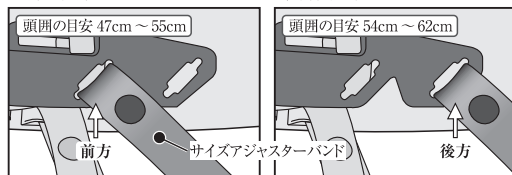
あごバンド および ヘッドバンドの調整方法

重要

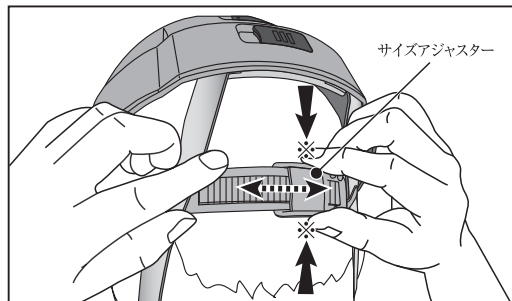
あごバンドやヘッドバンドは、あらかじめご自分のサイズにフィットさせた状態で保管いただくことをお勧めします。「いざ」という時に調節が不要です。ご購入したらまずはセットしてみましょう。



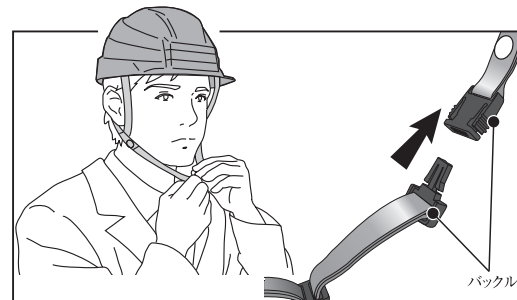
①頭圍のサイズに合わせ、サイズアジャスターバンドの取り付け位置を調整します。頭圍の目安として 47cm～55cm の方は前方、54cm～62cm の方は後方にサイズアジャスターバンドを取り付けます。



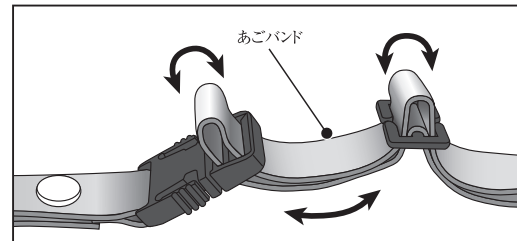
②サイズアジャスターをお好みの位置に置き、※部を上下に押し狭めると長さ調節ができ、ヘッドバンドのロック解除もできます。



③ヘルメットを被り、あごバンドのバックルをはめます。

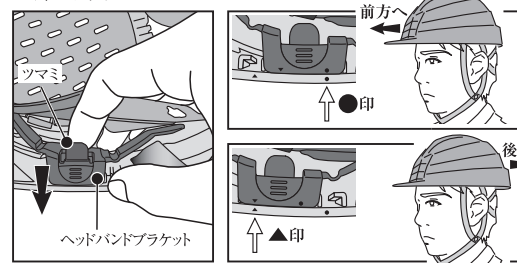


④あごバンドがご自分のサイズに合わない場合は図のようにバンドをスライドさせて、あごのサイズにフィットするよう長さを調節します。



⑤ヘルメットの前後バランスを変えたい場合、ヘッドバンドブラケットの取り付け位置を調整します。ヘルメットを前方に移動させたい方は●印どうして合わせ、ヘルメットを後方に移動させたい方は▲印どうして合わせヘッドバンドブラケットを取り付けます。

※ヘッドバンドブラケットは、ツマミに指を掛け垂直方向手前に引くと外れます。



内装交換方法

交換方法はWEBをご覧ください。下記 URL、右記 QR コードからアクセスできます。
<https://www.dic-plas.co.jp/products/helmet/izano/izano2.html>
 交換用内装部品をお求めの場合は、IZANO 2 をご購入頂いた販売店までお問合せください。



製造・販売元



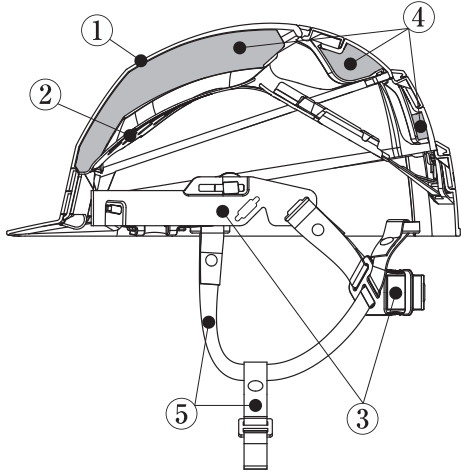
DICプラスチック株式会社

本社：〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル20階 TEL:048-658-8857
 札幌営業所：〒061-1112 北海道北広島市共栄54-15 TEL:011-370-2611
 名古屋営業所：〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-7-15 名古屋ディーアイシービル3階 TEL:052-857-0300
 大阪営業所：〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島7-4-17 新大阪上野東洋ビル6階 TEL:06-6307-2315

保護帽の取扱説明書

- 保護帽は、厚生労働省の規格「**保護帽の規格**」に適合することを検定により確認されることが必要であり、型式検定合格品には「**労・検**」のラベルが貼付されています。
- 厚生労働省の「**保護帽の規格**」は、頭部の安全を確保するための最低限度の基準を定めたものであって、自ら保護性能には限界があ

1. 保護帽の構造



番号	名 称	備 考
①	帽 体	頭部を覆う硬いかく（殻）体
②	着装体	ハンモック
③		保護帽を頭部に保持し、当たりを良くして衝撃を緩和する部品
④	衝撃吸収ライナー	発泡スチロール製等の衝撃を吸収するための部品（梱包材料ではありません）
⑤	あごひも	保護帽が脱落するのを防止するための部品

保護帽は、帽体、装着体、衝撃吸収ライナー、あごひも等の部品によって構成されています。これらの部品の一部でも性能が低下すれば、危険を防止または軽減することができなくなります。

2. 保護帽の使用区分（種類）構造

使用区分（種類）	構 造
飛来・落下物用	帽体、装着体及びあごひもをもつもの
墜落時保護用	帽体、装着体、衝撃吸収ライナー及びあごひもをもつもの
飛来・落下物用 墜落時保護用	帽体、装着体、衝撃吸収ライナー及びあごひもをもつもの

「労・検」のラベルに記載されている「飛来・落下物用」とは、上方からの物体の飛来または落下による危険を防止または軽減するためのものです。「墜落時保護用」とは、倉庫に積まれた荷の上、車両の上等の、足場あるいは安全帯が使用できない場所からの墜落による危険を防止若しくは軽減するためのものであって、構築物や電柱等のような高所からの墜落による危険でも防止できるものではありません。

この度は DIC ヘルメットをお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用になる前に**必ずお読みください**。この取扱説明書は読み終わった後も大切に保管してください。紛失した時は弊社に請求してください。

保存用

ります。従って「**労・検**」のラベルは絶対的に安全性を保証するものではありません。使用にあたっては最大限の注意を払い、常に安全な作業ができるように、この取扱説明書に従って使用してください。

3. 警告、注意

- 本書では正しい取り扱いに関する必要な事項を下記のシンボルマークで表示しています。

警告 この取扱説明書の内容どおり正しく守らないと、**生命または頭部に重大な傷害**を及ぼすことを意味しています。

注意 この取扱説明書の内容どおり正しく守らないと、**頭部に傷害**を及ぼすことを意味しています。

警告 <生命または頭部に重大な傷害を及ぼします。>

- ①一度でも大きな衝撃を受けたら、外観に異常がなくても使用しないでください。（衝撃を受けた保護帽は性能が低下しているので、次に衝撃を受けたとき頭部を十分に保護することができません。）
- ②あごひもは必ず正しく締めて着用してください。（事故のとき保護帽が脱げて、頭部に重大な傷害を受けます。）
- ③保護帽を改造あるいは加工したり、部品を取り除かないでください。（保護帽は、各部品の全体のバランスで性能を発揮できるように設計されています。改造したり部品を取り除くと頭部が保護できなくなります。）
- ④購入後、期間の長い保護帽は使用しないでください。帽体の材質を確かめ、特に異常が認められなくても、PC、PE、ABS 等の熱可塑性樹脂製の保護帽は 3 年以内に交換してください。なお、防災用ヘルメット*として購入し、保管を始めてから 6 年を経過した防災用ヘルメットは交換してください。（* 防災用ヘルメットとは、工場作業、現場作業等の労働安全衛生規則に関わる場所で使用するものではなく、また、その作業等においても使用しないヘルメットで、万が一の災害時の非常時のみに被る防災用として使用するヘルメットと定義しております。）
- ⑤使用前には必ず「**保護帽の 17 のチェックポイント**」（右図）によって点検し、少しでも異常が認められるものは使用しないでください。（修繕をしないでください。）
- ⑥保護帽をかぶり原動機付自転車を含むオートバイに乗りしないでください。（乗車用ヘルメットとは設計、製造、性能試験等の目的と方法が全く異なります。）

注意 <機能や性能に影響を与え、保護帽本来の性能を損ない、頭部に傷害を及ぼします。>

- ①ヘッドバンドは正しく調節して下さい。調節が悪いと、使用中ぐらついたり脱げ易く、保護性能を十分に発揮することができません。
- ②メーカー指定以外の部品、付属品を取り付けしないでください。（機能が低下したり、性能が損なわれます。）

- ③あごひもが汚れた時は、交換してください。交換する際には、完全に元とおりになるよう組み立ててください。
- ④炉前、乾燥炉内、投光器のすぐ近く等のような高温の場所での長時間作業はしないでください。（材質が変質、変色や変形を起こし、性能が低下します。）
- ⑤夏季の自動車内や暖房器具の近く等のような50℃以上の高温になる場所や、直射日光の当たる場所に長時間放置しないでください。（材質が変質、変色や変形を起こし、性能が低下します。）
- ⑥メーカー指定以外の塗料を用いて帽体の塗装をしないでください。（帽体の材質が侵され、性能が低下します。）
- ⑦保護帽に腰掛けたり、物を入れて運んだりしないでください。（保護帽が変形し、装着体、衝撃吸収ライナー、帽体等を傷つ性能が低下します。）
- ⑧保護帽を床等に放り投げたりしないでください。衝撃で帽体の材質を傷め性能が低下しますので、丁寧に扱ってください。
- ⑨メーカー指定以外のラベル、ステッカー類等の貼付をしないでください。（薬品、粘着剤等によって帽体が侵され、性能が低下します。）

5. 保護帽の 17 のチェックポイント

- ⑩帽体の汚れは中性洗剤を湿した布で拭き取り、清水ですすいだ布で拭いてください。（ベンジンまたはシンナー等の有機溶剤の使用は、帽体の破損、クラック、表面の溶け、シール剥がれの原因となり、また衝撃吸収ライナーの材質を傷めます。）

4. 着用時に守っていただきたいこと

- ヘッドバンドの調節**
ヘッドバンドは、頭の大きさに合わせて調節してください。（ヘッドバンドの調節が悪いと、使用中にぐらついたり脱げ易く保護性能を十分に発揮することができません。）
- かぶり方**
保護帽はまっすくにかぶり、後ろへ傾けてかぶらないようにしてください。（あみだかぶりをしないでください。）
- あごひも**
あごひもはゆるみがないように締めてください。着用中はゆるめたり、外したりしないでください。（事故の時、保護帽が脱げて重大な傷害を受けます。）

このイラストは異常な状態をわかりやすくするため誇張して表現してあります。

廃棄または新しいものと交換するとき目安

①縁が欠けまたは折れているもの



②衝撃の跡が認められるもの



③すりキズが多いもの



④汚れが著しいもの



⑤メーカーがあげた以外の穴があいている



衝撃吸収ライナー（発泡スチロール）

⑥著しい変色が認められるもの



⑦取り付け部（ブラケット、フック等）に異常があるもの



⑧変形しているもの



⑨熱、溶剤等によって変形しているもの



⑩著しく汚れているもの



⑪キズ、割れが著しいもの

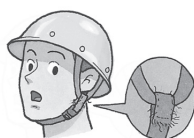


着 装 体

⑫使用者が改造したものの



⑬縫い目が壊れているもの



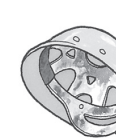
⑭あごひもが損傷または著しく汚れているもの



⑮ヘッドバンドが損傷しているもの



⑯汗、油等によって著しく汚れているもの



⑰成型ハンモックにキズが付いているもの

